

《赤坂まちづくり協議会伝言板》

”新しく生まれ変わる赤坂校区の公園”

公園再整備工事状況のお知らせ

星和台公園



赤坂校区内の公園施設は30年以上使用し、遊具などが老朽化したため、平成30年に市の公園再整備事業に応募し、審査基準に合格し再生することができました。

これも長年にわたる各公園愛護会のみなさんによる環境美化・清掃活動の実績が評価されたおかげです。

この公園再整備事業には、自治会・町内会はじめ公園愛護会・地域住民のみなさんが合同勉強会や現地調査に参加し、又赤坂小学校の3年4年5年生のみなさんに、どんな遊具が人気があるか、新しい遊具を希望しているかアンケートを取り参考にし、公園ごとの整備計画を作り上げました。

令和元年度より工事に着手し、最初に星和台公園、星和台東公園が完成、令和2年度は、貴船台公園と本城東地区は本年度3月に完成の予定です。

令和3年度には、貴船台公園、赤坂池公園を工事施工し、いよいよ、赤坂校区の8つの公園の再整備が完了となります。

新しくなった公園で、子ども達の唯一の遊び場、又年長者はじめ地域のみなさんの“憩い”の場、住民同士のコミュニティの場として大いに利用し、楽しんでいただきたいと思ひます。



本城東6丁目公園



ぶら下がり健康器具

冬のきらめき講座 2月3日(水)

「老活のすすめ」

～あなたと家族の未来に向けてのお片づけ～

終活アドバイザーの藤原香織氏をお迎えし、自分の人生をどのように締めくくるのか、またどうしたら家族に負担をかけずに済むのかなど、沢山の疑問についてお話していただきました。

- まずは、家庭に溢れている品物の整理からはじめましょう。
自分の体力と判断力のあるうちに必要のないものを整理しておかないと…遺品整理には遺族の負担と高額な処分費用がかかります。元気なうちに親子ではじめてみましょう。
- エンディングノートを書いてみましょう。
過去の自分を見つめなおし、これからどのように暮らしていくのか、また自分の葬儀をどのように行いたいなど具体的に考えてエンディングノートに書き、残しておきましょう。
*そしてエンディングノートのことを家族に伝え、これからの未来を前向きに過ごして欲しいと思ひます。



赤坂げんきクラブ

1月26日(火)

「食の講座」ソーセージ作り



ほっこり農園の相良友香先生にご指導をいただき、鹿児島島のブランド豚、茶美豚(チャーミー-ton)を使い手作りソーセージ作りをしました。

茶美豚のミンチを脂とよく混ぜ合わせ、羊の腸の中に詰めていき、茹でて美味しいソーセージが出来上がりました。

ソーセージは大きさや、後処理の仕方(燻煙)で呼び方が違って来そうです。(フランクフルトソーセージ・ボロニアソーセージ等)

今回みなさんが作ったソーセージは、羊の腸に詰めて太さが直径20ミリ未満なのでウイナーソーセージです。

皆さんが自宅に帰り、どんなおいしい料理をつられたのか興味津々です!!



男子雑学クラブ 1月27日(水)

～松本清張を学ぶ～「清張と筑豊」



「松本清張記念館」主任中川氏を講師に迎え、「松本清張と筑豊」についてお話していただきました。

清張と筑豊地方は作品などを通し関係が深い、という事は知っていましたが、今回「半生の記」を中心に何点かの作品を通してお話していただき、知らないことをひも解いていくことができました。外出が自由に出来るようになれば、是非記念館へ行きたいと思ひます。



第1部:消防署に聞く 気になるあれこれ

第2部:開講式 2月17日(水)・22日(月)



第1部は、八幡西消防署折尾分署の方々に身近な問題である住宅用火災警報器の設置について、また、災害時の避難の仕方及び救急車の呼び方などをお話していただきました。

救急車を呼ぶ時、まずは落ち着いて出来るだけ多くの情報を伝え正確な場所へ誘導することを心掛けます。

毎年地域の方と避難訓練を行いますが、今はコロナで厳しい状況が続いています。中でも万一の時の逃げ遅れなどを防ぐ為に地域における市民センターの役割や防災リーダーを中心に住民の方々の連携が大切だと思ひました。

第2部は、開講式を行いました。今年度は7月から感染対策にご協力頂きながらの遅いスタートになりましたが、全6回多数ご参加を頂きありがとうございました。